

ナシ新品種「愛知梨3号」の特性

～「甘い」だけじゃない！生育が旺盛で花芽の着生も良好な新品種～

市川 啓（愛知県農業総合試験場園芸研究部）

【令和元年10月3日掲載】

【要約】

愛知梨3号は、8月中旬から収穫できる早生品種で、果実の糖度が高く、酸味が少ないことから、現在の消費者嗜好に合致している。生育が旺盛で花芽の着生、維持が良好なことから栽培が容易である。苗木の新梢伸長がおう盛で、早期の収量確保が期待できる。

1 はじめに

本県のナシ産地では、「幸水」が栽培面積の半分を占め、次いで「豊水」が栽培されています。しかし、近年、「豊水」の販売価格が他県産「幸水」との競合や消費者嗜好の変化により低迷している。

こうした状況を踏まえ、農業総合試験場では、「幸水」と作期分散が可能で、「豊水」や「幸水」より食味の良い新品種「愛知梨3号」を、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と共同で育成したので紹介する。

2 生育・栽培特性

本品種は、「幸水」に比べ樹勢がやや強く、枝の長さは長い。短果枝における花芽の着生は中程度で、えき花芽の着生も多いため、花芽の確保は容易である。また、開花中央日や収穫ピークが「幸水」とは異なるため、受粉作業や収穫作業に要する労力が分散でき、「豊水」の代替品種となることが期待される（表1）。

「愛知梨3号」は、「歎月」（S遺伝子型：S4S9）と交雑不和合性を示し、「幸水」（S遺伝子型：S4S5）、「豊水」（S遺伝子型：S3S5）とは、交配親和性を示す。

3 果実特性

果実の形は円形で、大きさは「幸水」並からやや大きい。果皮の色は黄赤褐色で「幸水」に類似するが、果肉の色は白黄色である（図1）。果汁の糖度は「幸水」「豊水」と比べやや高く、糖類の中でも甘みを感じやすいとされるショ糖と果糖の割合が高い。また、pHは「豊水」より高く、「幸水」と同程度で酸味は少ない（表2）。一方、常温条件下での日持ち性は「幸水」よりやや劣るが、冷蔵条件下では「幸水」より優れる。

4 本品種の評価

現地適応性試験を行った県内8戸のナシ生産者からは、果実特性、栽培特性ともに「豊水」に比べ高評価を得た。また、市場関係者、直売担当者及び消費者を対象とした食味評価では、「幸水」「豊水」と比較した際に、両品種より総合評価が高く、特に「甘み」、「シャリシャリ感」、「みずみずしさ」の項目で高評価を得た（図2～4）。そのため、「幸水」以降に出荷される良食味のナシとして定着することが期待される。

表1 「愛知梨3号」の樹体特性 (2015~2017年)

品種・系統名	樹勢	枝の長さ	短果枝の着生	えき花芽の着生	開花中央日 (月/日)	収穫始 (月/日)	収穫終 (月/日)
愛知梨3号	中~強	長	中	多	4/12	8/15	8/30
幸水	中	中	少	中	4/15	8/12	8/23
豊水	中~強	長	中	多	4/12	8/30	9/8

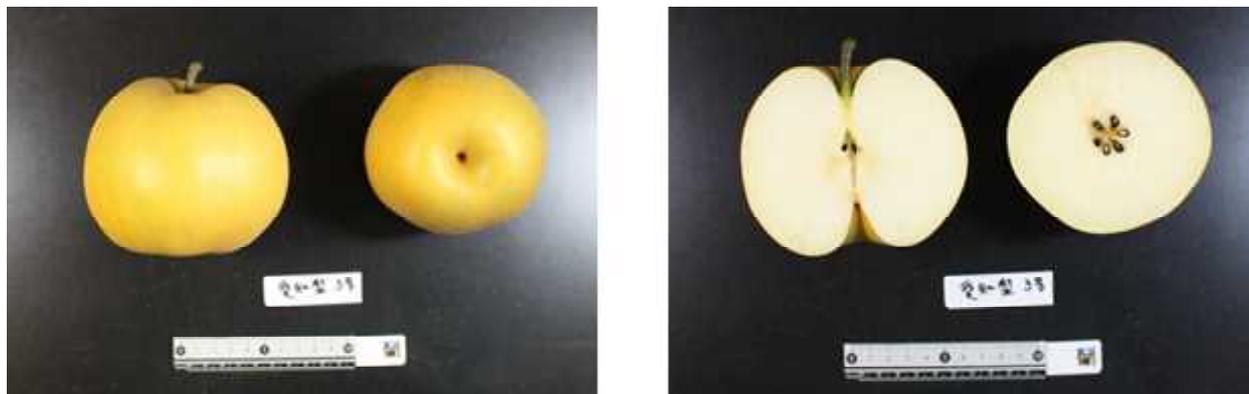


図1 「愛知梨3号」の果実と果実断面

表2 「愛知梨3号」の果実品質 (2015~2017年)

品種・系統名	1果重 (g)	果肉硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸 (pH)	みつ症の発生	心腐れの発生	裂果の発生	日持ち性 (日)
愛知梨3号	414	6.2	14.2	5.2	無~少	無~少	無	3
幸水	398	6.1	13.2	5.2	無	少	有	5
豊水	479	5.3	13.8	5.0	無~少	無~少	無	-

ニホンナシ地色用カラーチャート4a~4b段階で収穫した果実を調査 (n=10)

注) 常温条件下

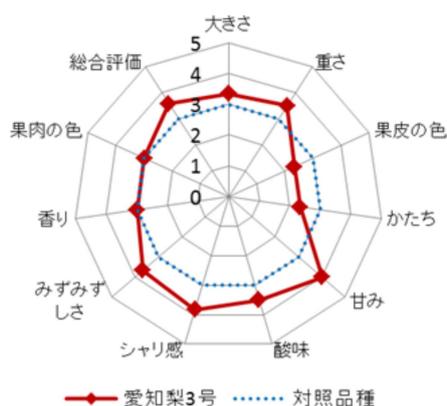


図2 市場関係者の「愛知梨3号」の評価

(対照品種「豊水」を3とした際に「愛知梨3号」を5段階で評価)

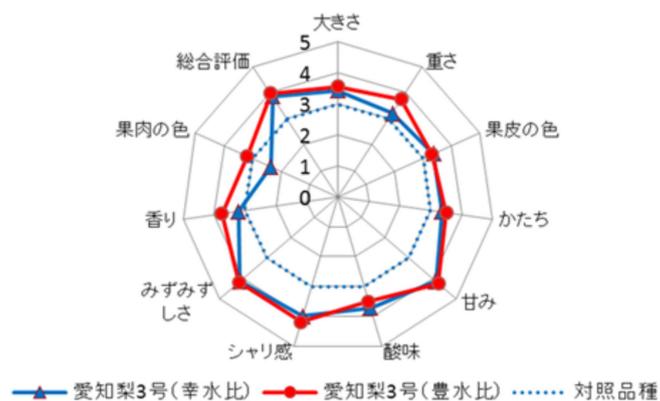


図3 直売担当者の「愛知梨3号」の評価

(対照品種「幸水」、「豊水」を3とした際に「愛知梨3号」を5段階で評価)

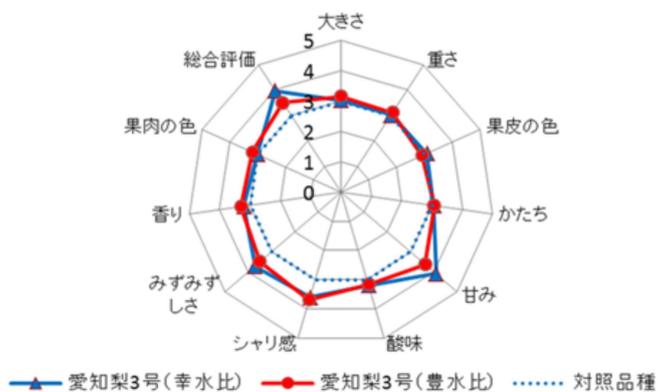


図4 消費者の「愛知梨3号」の評価

(対照品種「幸水」、「豊水」を3とした際に「愛知梨3号」を5段階で評価)